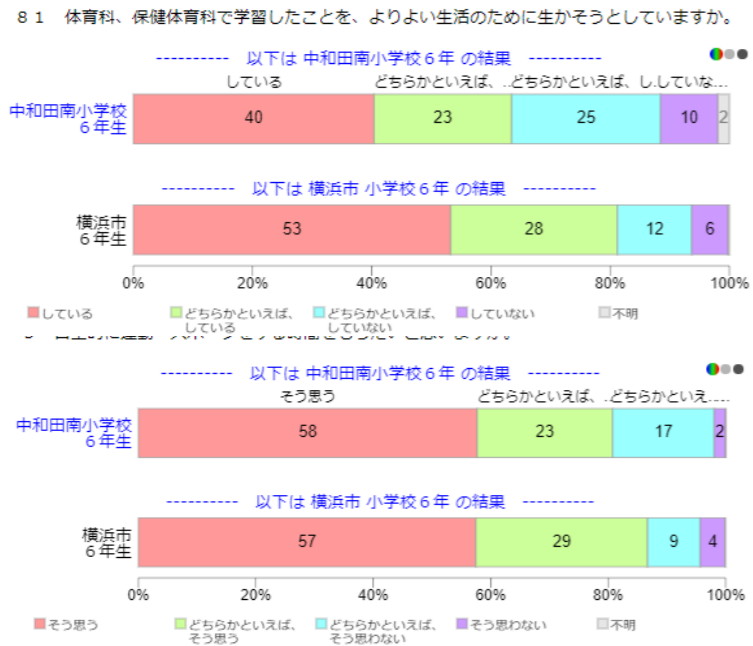


健やかな体の育成プラン

重点取組分野	具体的取組
健康教育	①体力アップ大作戦、マラソン大会等の体力向上を図る取組を計画する。②企画委員会、保健委員会、給食委員会など、児童の組織を活用して、児童が健康や保健安全面に関心をもち、主体的に活動に取り組めるようにする。
担当	体力推進・特活

健やかな体に関わる本校の状況

(1) 学力に関わる児童生徒の実態
 横浜市学力・学習状況調査の生活意識調査からは、自主的に運動することが好きな児童が多いことが分かる。一方、一定数の児童は、進んで運動することに抵抗があることも読み取れる。また、体育の学習に関する意識調査では、体育の学習が楽しいと回答している児童が多いが、生活に生かそうとする意識が横浜市平均に比べて低い傾向が読み取れる。



(2) これまでの学校の取組状況
 長縄集会、体力アップ大作戦、マラソン大会等の体力向上を図る取組を継続して行ってきた。コロナ禍で実施できない取組もあったが、工夫して行えるように努めてきた。
 また、学校保健委員会の取組内容を児童会や保険委員会が主体となって計画準備し、児童が主体的に年間を通じて継続的に取り組めるように活動してきた。

今年度の目標

児童が自らの体力や健康に関心をもち、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を身に付けることにより、体力の向上と心身の健康の保持増進を図る。

目標を実現するための具体的行動プラン

上半期

《体育科での取組》
 ・体育科では、動きの高まりのみならず、動き方や動き方のポイントを理解し、「できる」までの思考の過程も大切に学習活動を大切にする。その中での“学び合い”を通して、他者から認められる喜びを味わえるようにする。

《他教科での取組》
 ・家庭科では、「食育」の充実を図り、栄養・健康と生命のつながりについて考えることができるようにする。
 ・国語や社会、理科(生活)では、身の周りの動植物の生態について学習し、自分の生命だけでなく、他者の生命を大切にしようとする態度を養う。

《学校行事での取組》
 ・水泳学習では、安全に気を付けながら、自分の目標に向かって学習に取り組み、体力の向上を図れるように、プール開き・プール納めの時間を設定する。
 ・体力の向上と心身の健康の保持増進を目的に学校保健委員会のテーマを保健委員会で設定し、テレビ放送を使って、全校で考え、共通理解ができるようにする。

下半期

《体育科での取組》
 ・体育科では、動きの高まりのみならず、動き方や動き方のポイントを理解し、「できる」までの思考の過程も大切に学習活動を大切にする。その中での“学び合い”を通して、他者から認められる喜びを味わえるようにする。

《他教科での取組》
 ・家庭科では、「食育」の充実を図り、栄養・健康と生命のつながりについて考えることができるようにする。
 ・国語や社会、理科(生活)では、身の周りの動植物の生態について学習し、自分の生命だけでなく、他者の生命を大切にしようとする態度を養う。

《学校行事での取組》
 ・運動会では、児童の発達段階に合わせた表現運動、団体競技を選択し、児童がなぜその演技・競技を行うのかを考えて運動に取り組めるようにする。
 ・ランニング大会では、自分の体力に向き合い、長く持続する動きができるように、学習カード等を作成し、主体的に取り組めるようにする。